

# デジタル田園都市国家構想交付金事業評価シート

		担当課名	建設産業課	事業No.	3
事業名	3つの徳島県・地域連携DMOが協働する観光振興プログラム				
目的	藍染料の製造から染色に至るまで5感で感じる体感型観光の推進、藍産業・染織関係者等と連携した魅力発信事業の実施により、町民・県民の藍に関する理解・関心の深化を図る。				
実施内容	町が主体となって、次の事業を実施【地方創生推進タイプ】 1) “藍” deグルメ事業 2) 藍住町歴史館「藍の館」新装開館記念事業 3) 藍染め企画展開催事業				
重要業績評価指標 (KPI)	指標	目標		実績	
	人口の社会増減数	+63人 (2018) → +100人 (2023)		+81人 (2022)	
	移住者数	520 (2019) → 550人 (2023)		274人 (2022)	
達成度	A：達成      (B)：概ね達成      C：未達成				

## 【事業費と財源内訳】

(単位：円)

2022年度	計画額	実績額	交付金充当額	備考
事業費	8,000,000	7,026,709	3,513,354	事業費の1/2

## 【2022年度の取組と課題】

7月の「とくしま藍推進月間」に合わせて、藍染め製品を身に着けて、町内飲食店の協力店舗へ行くと、お得なサービスが受けられるイベント「“藍” deグルメ」を開催した。多くの店舗に訪れてもらえるようにスタンプラリー形式とし、また一定のスタンプを貯めると商品券が当たる抽選に応募できるようにすることで、イベント参加者の把握に努めた。これにより町内だけでなく、県内外からのイベント参加者がいたことがわかった。

藍の館リニューアルオープンイベントでは、先着3,000人の入館料及び藍染体験料を無料とした。2か月足らずで、3,000人以上の方が来館し、新しくなった「藍の館」を広く周知することができた。

さらに、藍染師による作品展では、422人の来館があり、内177人が町外で徳島県内(41.9%)、126人(30%)が県外からだった。藍染師による現代の活きた技術を身近に感じることで、藍への関心を持つ機会を設け、阿波藍の魅力を藍の館から町内外に広く発信することができた。

## 【今後の取組】

町民や県民の藍に関する理解・関心の深化を図るとともに、県内外やインバウンドに対する観光需要に対して、“藍” deグルメ事業などを始めとするイベントの開催や、藍の館やあいずみ藍工房を中核とした5感で感じる体験型観光を推進していく。

※藍住町地方創生推進会議の意見

・例えば、“藍” de グルメ事業で来店された方が、そのお店で藍染体験ができる、あいずみ藍工房で製造したすくもを一般販売するなど、インパクトのある取組を検討していただきたい。